



# みどりの風



## あと1ヶ月で夏休み

校長 新井 英男

6月1日から分散登校、15日から通常登校が始まりました。子供たちの元気な声、輝く笑顔が戻ってきて、やっと学校本来の姿になりました。しかし、まだ、新型コロナウイルス感染症への対応のため、子供たちも教職員もいろいろなことに注意を払いながらの学習、生活となっています。今できる最高のことを子供たちとともにやり、学力をしっかりつけ、豊かな心を育て、健康で丈夫な体をつくっていききたいと思います。

1学期は、7月31日までとなります。あと1ヶ月です。4月・5月と長い臨時休業となりましたが、学校が始まってからは授業に真剣に取り組み、様々なことをどんどん吸収しています。これから暑い日が続くと思いますが、熱中症にも気をつけながら、学校生活を充実させていきます。

## 令和2年6月24日 148回目の開校記念日



<昭和41年正門> <昭和53年旧講堂> <昭和59年前校舎>

### <「開校百周年記念誌」から抜粋>

深谷小学校は、**明治6年（1873年）に深谷学校として開校**。深谷町、西島村、田谷村の連合で、**児童数は約50名**。高台院で始まり、明治19年

（1886年）に、深谷町西運寺に移転して、**尋常小学深谷学校**と改称。明治21年に**尋常小学校深谷小学校**と称した。その後、明治27年（1894年）に初代校長に北爪義勝氏が就任。明治33年（1900年）のときの**児童数は511名**、教員数は7名。明治42年（1909年）には、**深谷男子尋常高等小学校と深谷女子尋常高等小学校とに分離**。**児童数は945名**、教員数は19名。

大正7年（1918年）7月に、**深谷町立尋常高等小学校**が開校。大正13年、**児童数1666名**、教員数33名となった。

昭和15年（1940年）には、**児童数2399名**、教員数51名。昭和16年（1941年）に、**深谷町立深谷国民学校**と改称され、昭和21年（1946年）には、**児童数3296名**、教員数63名の巨大校になった。昭和22年（1947年）に、**深谷町立深谷小学校**、**児童数は2901名**、教員数52名。昭和25年（1950年）に学校給食調理場が新築され、給食が始まった。昭和30年（1955年）、**深谷市立深谷小学校**と改称し、**昭和31年（1956年）にプールが完成**。昭和33年（1958年）、桜ヶ丘小学校新設により、児童390名が転出、昭和36年（1961年）、深谷西小学校新設により、児童322名が転出。**昭和39年（1964年）、従来の校歌を廃止して新しい校歌を制定し、開校記念日を6月24日に制定し、深谷小学校愛唱歌を作成**。昭和46年（1971年）、常盤小学校新設により、児童163名転出。昭和48年（1973年）、開校百周年記念式典挙行。校旗の新調。斜走路設置。樺植樹。

これからも伝統のある深谷小学校がさらに素晴らしい学校になるように、子供たちと教職員で努力していきます。保護者の皆様、地域の皆様には、今後ともお力添えをよろしくお願いいたします。



<大正9年の子供たち>

## 好奇心の種まきを！ ～自主学習に取り組もう～



「自分のために自分で学習していく。」私たちは、こんな子を育てることを目指しています。

子供たちは、興味をもつと「どうしてだろう？」「なぜだろう？」とその原因を知りたくなります。何も言われなくても、時間を過ぎてても、一生懸命考えます。やってみます。勉強します。

本校では、高学年の子供たちが自分にとってどんな勉強をすることがよいのかを考え、与えられた宿題だけでなく、自らの学習を自主学習帳に行っています。臨時休業中に何冊も終わった子もいたようです。自主学習が軌道に乗ると、「自主学習を行わないと何かおかしな気持ち。」と思う子になります。

昨年度までに子供たちに何回も朝会等で話してきましたが、私が担任していたM子さんは、まさにそんな子でした。1年間1日も休むことなく、旅行に行くときも自主学習帳を持っていくような子で、毎日ノートに4～5ページ学習したものを私に提出してくれました。自主学習帳を2冊用意し、私が1冊ずつ預かってコメントを書きました。M子さんのようにとまではいなくても、人から言われるのではなく、何を学習したらよいのかを考え、学習していく子を小学生のうち育てていきたいと思っています。

今、1・2年生は学習する習慣を付けるときです。毎日、与えられた宿題を自分から取りかかれるようになってほしいと思います。そして、3年生以上は、少しずつ、自主学習も始めていき、学年に応じて内容を向上させていけると最高です。

自主学習帳を親子のコミュニケーションツールにしている家庭があります。子供に学校で学んだことをもとに「問題づくり」をしてもらい、親がそれを解くというやり方です。例えば「磁石でこすったくぎは、他の鉄くぎを引きつけることができますか？」。この子供の問題を親が頭をひねって解いてみて、その感想をノートに返信。その後、子供が回答と説明をします。こんな例が埼玉新聞に掲載されていました。理解を深めるためには、やり方を説明することが効果的です。みなさんも、こんな「親子で世界に一つしかない問題」を出し合ってみませんか。

## 7月の主な行事予定



日	曜	主な学校行事	日	曜	主な学校行事
1	水	登校指導、チャレンジタイム（国語①）	16	木	特別日課、学級の時間
2	木	特別日課、基礎タイム	17	金	学級の時間
3	金	学級の時間	18	土	
4	土	土曜授業（特別日課3時間）	19	日	
5	日		20	月	特別日課、学級の時間
6	月	特別日課、学級の時間	21	火	学級の時間
7	火	全校朝会（放送）、委員会活動	22	水	チャレンジタイム（算数②）
8	水	チャレンジタイム（国語②）、古代からの玉手箱（6年）	23	木	海の日
9	木	特別日課、基礎タイム、検尿予備日	24	金	スポーツの日
10	金	学級の時間	25	土	
11	土		26	日	
12	日		27	月	特別日課、学級の時間
13	月	特別日課、学級の時間	28	火	学級の時間
14	火	学級の時間、一斉下校	29	水	特別日課5時間、学級の時間
15	水	チャレンジタイム（算数①）	30	木	特別日課4時間、給食最終日
			31	金	特別日課3時間、第1学期終業式

※2学期は、8月18日（火）から始まります。今年度は、新型コロナウイルス感染症の関係から、夏季休業中、「奉仕作業」、「深小っ子フェスティバル」を行いません。

# 本校のホームページから

## 【5月28日】『緞帳が新しくなりました』

学校日より6月号に『環境が人をつくる』と書かせていただきました。その中で、本校出身、ドトールコーヒー鳥羽名誉会長様からのご寄付で、体育館の緞帳も新しくなったことを紹介しました。その様子を写真で紹介いたします。素晴らしいステージとなりました。



## 【5月31日】『子供たちの命を守るヘルメット』

子供たちのヘルメットは、深谷市からの寄贈となっています。命を守るヘルメットをいただけるということで、大変ありがたく思っています。



しかし、ヘルメットの取扱説明書には、次のように書かれています。お子様のヘルメットを時々確認していただき、安全かどうかを見ていただくと幸いです。

- ①一度でも大きな衝撃を受けたヘルメットは使用しないこと
- ②ヘルメットはまっすぐかぶり、あごひもはしっかり締めること
- ③ヘルメットは改造しないこと
- ④メーカー指定以外の塗料を用いて塗装をしないこと
- ⑤ヘルメットの交換目安は、購入日より3年間
- ⑥頭に合ったサイズのヘルメットを着用すること
- ⑦メーカー指定以外の部品、付属品を取り付けないこと
- ⑧ヘルメットは丁寧に扱うこと
- ⑨50℃以上になる場所に放置しないこと
- ⑩清掃にガソリン、ベンジン、シンナー、鉱物性油脂類（グリス・マシン油）等の有機溶剤を使用しないこと

## 【6月9日】『今年もお世話になります』～ネギの先生 篠崎元校長先生～

『ふるさと ふかや・渋沢学』の一環として、今年も篠崎・元本校校長先生にお世話になって、ネギを育てていきます。『ふるさと ふかや・渋沢学』とは、地域の関係団体、機関等と連携し、豊富な教育資源を活用して発達段階に応じて「ふるさとを理解し、誇りに思う」ことを通して「郷土の偉人・渋沢栄一翁の精神を育み、深谷の将来を担う自覚をもった子供たちの育成」を目指すものです。

本日と明日の分散登校で、篠崎先生のご自宅からたくさんいただいたネギ苗を3年生が植えます。

本校用務員が土を一生懸命やわらかくし、ネギを植える最高の状態にしてくれました。その花壇に3年生3クラスが順番に植えていきました。植える前には、篠崎先生から、深谷ねぎの特徴、植え方、目的等話をいただきました。

植え終わると、子供たちの中から自然と「あー、楽しかった！」という声がたくさん聞こえてきました。このような体験をすることは、子供たちにとって大変貴重です。篠崎先生、大変お世話になりました。ありがとうございました。また、明日、残りの子たちがお世話になります。



## 【6月10日】『本校ホームページ訪問者数 200万人を突破』

昨日の夕方、あと200人くらいで200万人に達する状況でした。今朝見てみると、200万人を超えていました（8時現在 2001030人）。

毎日、のべ1500人から2000人の方が見てくださっています。ありがとうございます。ホームページの更新は、私が着任した2018年4月5日から本日まで、土日も、夏季休業中等も一日もあけることなく、毎日更新してきました。これは、見てくださる皆さんの数、そして、様々な声、励ましがあつたからこそこのものです。今後とも、毎日、更新していきますので、引き続き見ていただくと幸いです。



## 【6月10日】『ご寄附いただきました』

本日、学校薬剤師の大谷先生から、手指消毒用ジェルを20本、本校と深谷幼稚園にいただきました。貴重な消毒液をありがとうございました。子供たちのために、大切に使用させていただきます。



## 【6月16日】『きれいなサンパチェンス』～玄関入り口に並べました～

昨夕、PTA会長の金子様がきれいなサンパチェンスの花をたくさん寄附してくださいました。子供たちがたくさん目にする玄関の階段に並べました。玄関が一段と明るくなりました。ありがとうございました。



## 【6月19日】『傘をさしての登校』

みんなが揃っての通常登校も5日目となりました。本日は、朝から雨。子供たちは、傘をさして登校してきました。1年生も正門のところで、しっかりあいさつできました。

雨の中、傘をさしての登校は、いつもの登校より大変です。学年ごとに学校に置いておけるものはできるだけ置いておきランドセルを軽くしているのですが、持ってくるものも多く、それに傘をさして歩くわけですから大変です。

しかし、大変なことを経験することも子供たちの成長にとって大切です。子供にとって大変だから「これもやってあげよう」、「これもやってあげよう」では、大変なことから逃げる子になってしまうかもしれません。学校でも子供たちにできることは、できるだけやらせていきたいと考えています。深小っ子には、強い子になってほしいと思います。

## 【6月21日】『コロナウイルス感染症&熱中症にならないように』

子供たちは、新型コロナウイルス感染症対策としてマスクをつけることが定着しています。給食の時も、食べる時までしっかりマスクをしています。

暑くなってきたため、登下校は距離を取り、話をしないようにすることでマスクをはずそうと話してきました。大変暑い中でマスクをしていることは熱中症の危険があるからです。しかし、強制ではなく、あくまでも個人、ご家庭の判断によるものです。

今回、「日傘をさして登下校するのはどうか？」という質問がありました。本校では、これもご家庭のご判断で「日傘をさして登下校することは問題ない」と考えています。傘をさすことにより、交通安全上は危険が増えると思いますが、熱中症対策としては効果があると思います。この点につきましては、ご家庭で判断していただければと思います。よろしくお願いいたします。



## 【6月27日】『6年生 ありがとうございます』～月曜日の階段そうじ～

今、本校の東と西の階段を6年生が月曜日に掃除してくれています。これまで、私が本校に着任してから階段の埃が気になり、ずっと子供たちに呼びかけてきました。全校朝会でも何回か呼びかけてきました。気づいたときにきれいにしてくれる子もいましたが続けるとなるとなかなか難しいことがありました。

そんな中、今年度の6年生は、みんなで分担してその階段掃除を始めてくれました。私が熊谷の学校に勤務していた時、その学校では、6年生の毎日の職員室廊下掃除が伝統になっていました。「6年生になると、自分たちも学校のためにきれいにするんだ」と先輩の頑張る姿を下級生が見つめていました。

本校でも、そんなことができるとうれしいなとずっと思っていました。それが、まさに現実のものとなってきました。6年生の皆さん、ありがとうございます。これが深谷小の『伝統の階段掃除』になっていくと思います。とっても嬉しいです。

